どんぐりの森通信　第13号　2007年5月

みどりの爽やかな季節になりました。近郊の山々にはまだ雪が残っていますが、ここ札幌では公園や緑地でも、住宅の庭でも若葉が一斉に芽吹き、花々が競って咲き始めました。北国の春、満開です。

平岡どんぐりの森の07年春の『どんぐりの森通信』第13号をお届けします。

今年度も自然との出会い、人との出会いを大切に、地道に活動を続けて行くつもりですので、どうぞよろしくお願いいたします。

❖❖❖　平岡どんぐりの森の活動　・・・・・　こんなことをしています。　❖❖❖

ながぐつの土曜日

毎月第２土曜日に開催する、小学生親子を中心とした自然観察会です。今年は４月から６月は平岡公園、７月から１１月は東部緑地で集合です。北海道自然観察協議会指導員の**ゆうさん**こと佐藤佑一さんをリーダーに、森や川を探険します。夏には東部緑地を流れる大曲川で、大人も子供も水に入って遊びます。焼いものお楽しみもありますよ。雪の季節の１月はスノーシューやカンジキで、この時期にしか入れない森の奥まで歩いてみましょう。

近隣の小学校には季節ごとに案内のチラシを配布しています。どなたでも参加できますが、小学３年生以下のお子さんは、保護者と一緒にご参加下さい。

この春の**ながぐつの土曜日**の様子をご紹介します。

●　春を見つけるたんけんたい（平岡公園）４月１４日(土)

毎年、四月の『ながぐつの土曜日』は春を待ちかねた大勢の親子連れで賑わうのですが、今年のこの日は朝から雪混じりの冷たい雨、風も強くて春は何処へやらの悪天候。それでも、集合時間になると数人の元気な子供達が顔を見せてくれました。雪もやんできたので、灰色の空にもめげず、恒例のカエルの卵探しに出発することにしました。

雪の少ない冬でしたが、春先の低温続きでカエルの産卵は予想より遅れ気味です。それでも原っぱの片隅の池には、**エゾアカガエル**の卵がこんもりと水面に盛り上がっていました。**エゾサンショウウオ**の卵も発見！やっぱり春は来ているんだね。

ゆうさんが、３つのバケツにエゾアカガエルの卵の塊を少しずつ入れました。「大きさが違うね！」「ゼリー状のぷるぷるの固さも違うよ！」のぞきこんだ子ども達が、初めはこわごわと、次第に大胆に卵にさわってみます。

「これはカエルが産んだばかりの卵、こっちは３、４日経ったもの、ふくれて柔らかくなっているのは１週間以上経っているだろうね。」ゆうさんの解説に、違いを納得です。

まだ雪の残る木道を、すべらないように用心しながら歩いて湿地を観察。**エゾノリュウキンカ**の蕾も固く、こちらは春までもう少し時間がかかりそうでした。

●　わかばの森たんけんたい（平岡公園）５月１２日（土）

梅の開花宣言が出て、平岡公園は年１度の賑わいを見せています。快晴の土曜日、梅見客で駐車場はごったがえしていますが、園内の散策路に入ると人影もまばらになり、伸び始めた新緑に包まれた明るい森に、夏鳥のさえずりが響き渡っていました。待望の青い鳥**オオルリ**も姿を見せてくれました。

オオカメノキがあちこちで白い花を咲かせています。丸く輪になった花ですが、縁取りの白い花は『飾り花』で、中央の小さいのがホンモノの花との説明に大人もビックリ、精緻な花の仕組みに感心しました。

倒木にアリが大きな巣を作っていたり、チョロチョロと**カナヘビ**が道を横切ったり、森の生き物たちも春の訪れで忙しそうでした。

平岡公園にはドングリの木がたくさんあります。なかでも**コナラ**の数が多いことをご存知ですか？新緑の時期、コナラは銀白色の若葉が目立って、**ミズナラ**との違いがよくわかります。遠くから見ても白っぽく見えるのがコナラの新緑だと教えられて、改めて周りを見渡すと、たしかに緑にも色々ありますね。梅の香と新緑を同時に楽しんだ一日でした。

平岡公園ツリーウオッチング

平岡公園内の樹木を中心に、四季の移り変わりを定点で観察する『ツリーウオッチング』。5 月から 11 月にかけて月 1 回水曜日に開催しています。

狭いようで広い平岡公園、歩く度に新しい発見があって楽しい観察会です。春は若芽の芽吹きから開花、緑が濃くなり木陰の涼しさにホッとする夏を過ぎれば、紅葉や黄葉の美しい秋、実が成熟して葉を落としてからも、来年に向けての冬芽の支度も見逃せません。

集合は毎回 9 時 30 分に平岡公園第 1 駐車場です。どなたでもお気軽にご参加下さい。

平岡公園のホームページ（http://www.sapporo-park.or.jp/hiraoka/index.html）でも詳しい日程を紹介していますのでご覧下さい。

● 5 月 16 日（水）ツリーウオッチング

今日は樹木の花が観察テーマです。

今が盛りの梅の香が漂う平岡公園ですが、この時期、園内では梅以外にも色々な樹木の花が咲き出しています。木の花は目立たないものが多いのですが、よく見ると色も形も様々で、なかなか興味深い。

入り口近くの梅の香橋では、普通は高い所に咲いていてよく見えない樹木の花が、目の高さでじっくり観察できます。今はモミジが花盛り。赤い花の**ヤマモミジ**、黄色の花の**イタヤカエデ**、そして若葉が赤味がかった**ベニイタヤ**と 3 種類のモミジの仲間の花を見ることができました。

エゾイタヤの花

「モミジの木に花が咲くなんて考えたことなかった！」という人もいて、たしかに紅葉の季節にしか注目されない木ですが、どれも可愛い花が咲くのですね。

アオジのさえずりに迎えられて木道を歩くと、**サワフタギ**が小さな蕾をぎっしりつけていました。山際には**ミヤマエンレイソウ**、**オオバナノエンレイソウ**の白い花が開き、湿地では**ミツガシワ**の花がもう咲き始めていました。数年前に移植した**ヤチヤナギ**にも、赤い雌花と橙色の雄花がしっかり咲いているのが確認できました。低木ですが、これもヤマモモ科の立派な樹木です。

池で大きな**ミズカマキリ**を見つけました。定規で描いたようにまっすぐな長い足にスマートな羽、ダンディな虫です。なかなか見られないものなので、子ども達にも見せたかったね！と声が上がりました。

最後に昔の炭焼きがまの跡地を見学して、満開の梅林で解散しました。

アオサギの観察会

平岡コロニー（イオン・ショッピングセンター裏の森）

暖冬のせいか、今年のアオサギ初飛来は例年よりも早い3月４日に１９羽確認。今までの記録を見ますと初飛来が年々早まってきており、やはり地球温暖化の影響でしょうか。（２003 年 3/17、04 年 3/15、05 年 3/10、06 年 3/9）

今年も平岡高校のご協力を頂き、アオサギ研究者の松長さんと共に高校屋上からアオサギの子育ての様子を観察します。４月から６月まで３回を予定しています。

●アオサギ観察会　4 月 27 日（金）

強風で吹き飛ばされそうになりながらスコープを覗くと、アオサギが営巣しているカラマツ林の木立は大きく揺れ、風に立ち向かうようにアオサギたちは頑張っていました。抱卵してヒナが孵る、とても重要な時期です。どんな悪天候にも負けずアオサギの子育ては８月上旬まで続きます。

私たちは強風に負けて約１５分で屋上から退散、科学部顧問の小林先生のご好意により、教室でお話をさせて頂きました。今年から科学部ではアオサギをテーマとして観察を始めるという大変嬉しいニュースがありました。情報交換などできると良いですね。

２回目は5月２５日（ヒナの様子）、３回目は６月末（アオサギの幼鳥）を予定しています。

平岡公園ボランティア　（はらっぱ会議での活動）

●　3 月 28 日（水）はらっぱ会議　今年度の活動について

平岡どんぐりの森は、公園ボランティア団体として登録し、平岡公園の湿地と池作りに協力しています。今年度も公園管理事務所や湿地の専門家の先生、札幌市の担当者等との協議の場である「はらっぱ会議」での話し合いをもとに、公園での観察会や、湿地作り、除草作業などの活動に協力する予定です。

●4 月 20 日（金）はらっぱ会議　平岡公園にぎわいフェスタについて

第１０回**平岡公園にぎわいフェスタ**は7月 28 日（土）10：00～14：00　開催を決定！

昨年までは「混播法での森づくり」でドングリなどのタネ集めをするため秋に行ってきましたが、公園内に予定していた植樹地区での植苗が終了しましたので、今年は夏休みに開催することにしました。川遊びや虫探しなどを思いっきり楽しもうと計画中です。さっぽろ広報でもお知らせする予定ですのでご期待下さい。

冬の活動報告

雪の季節にはカンジキやスノーシューをはいて、いつもは入れない森の奥まで探険します。雪の上には動物の足跡やフンが残っていたり、ドライフラワーになった**ツルアジサイ**や**オオウバユリ**があったり、冬ならではの面白い発見があります。葉が落ちて見通しの良い林ではバードウオッチングも楽しめます。

●1 月 13 日（土）ながぐつの土曜日　雪の森たんけんたい

雪が少なかった今年の冬ですが、長靴ではやはり埋まってしまうので、森の中を歩くにはカンジキが必要です。はじめてカンジキを履く子もいますが、すぐに慣れて雪の中を走っている子もいました。スノーシュー初体験の大人は、深雪でもらくらく歩けるのに感激。この日は**アカゲラ**、**コゲラ**が近くまで来たり、**ヒレンジャク**の群れを見つけたりしました。

●1月26日（金）西岡公園　　スノーシューハイク

森の冬景色を堪能しながら、雪原をスノーシューでお散歩。水辺に花が咲いたような結晶が輝いて目を引きます。野鳥のさえずりが心地よく、見上げた木々の向こうは青空が広がり幸せ気分、餌台に集まる野鳥を興味深くじっくり観察しました。**ヤマガラ**、**シジュウカラ**、**ハシブトガラ**、**ゴジュウカラ**、おなじみのカラ類ももう一度おさらいして、自信を持って（？）見分けられるようになりました。心も身体もリフレッシュできた冬の一日でした。

●3月2日（金）　野幌森林公園（トド山口方面）　スノーシューハイク

３月に入り春の日差しを感じながらも、森の中はまだ雪に閉ざされ、木々がひっそりと息づいていました。朝方降った雪が野生動物の足跡を隠してしまい、ちょっと残念。それでも所々に**エゾユキウサギ**の落し物がポロポロ。**エゾリス**や**ヤチネズミ**の足跡も見つけ捜索開始。遠くまで続いている足跡だけで姿はなし。野鳥の声を聞きながら雄大な巨木、大木を鑑賞。スノーシューの裏側に張り付いた雪が重くなり、お腹が減りだんだん足どりが重くなる。スノーシューを脱ぎ軽くなった足で先を急ぐが、時々ズボッと長靴が雪に埋もれ歩行困難になる。これも春が近づいている証拠。おしゃべりしながらの楽しい一時でした。

平岡どんぐりの森との出会い　　川下公園管理事務所長　　森田義寿

私が勤務しておりました川下公園から平岡公園へ異動したのは、平成13年の2月のことでした。当時の平岡公園は、地域住民の方々と公園との関わりが深く、特に、スコップ倶楽部が地域の子供たちを集めて自然学習・環境教育事業を精力的に展開しておりました。

川下公園は、平岡公園のような自然林などが残る公園とは違い、公園としての景観を造成工事にて作りあげた公園で、園内には温水プール・温泉浴室・屋内公園を備えた建築施設リラックスプラザとライラック園を備えておりました。平岡公園では、まったく違った環境で仕事をすることになり、新鮮な気持ちで来たことを思い出します。

当時のスコップ倶楽部は平成14年から平岡どんぐりの森と名称変更し、活動規模を設立当初のような身近な地域を中心としたものとして再スタートを図り、同時に私も活動に対し深く関わっていくこととなりました。

くしくも、周囲では市民との協働を考える動きが活発となり、以前より平岡公園及び周辺で活動されていた、平岡どんぐりの森に公園でのボランティア登録をお願いしたのもこの頃でした。

私事ですが、平岡どんぐりの森に改名した同じ年に長女が生まれ、2歳になった頃より、「ながぐつの土曜日」や「にぎわいフェスタ」にも一緒に参加させていただきました。現在は保育所に通っているため、参加する回数は減りましたが、職場が違えど親子共々今でも、ながぐつの土曜日の開催を楽しみにしております。また、管理事務所主催の公園ツアーを含め、平岡公園での自然学習の場は平岡どんぐりの森との協働により飛躍的に増えました。

現在私は札幌近郊の新篠津村に住んでおりますが、昨年、長女が通う保育所で開催する春の遠足でガイドを行いました。この遠足では、「ながぐつの土曜日」の案内人をされている佐藤佑一さんの子供たちとのやりとりが大変参考になりました。園児たちが行きすがら目に入ってくる植物や動物・虫たちに一喜一憂する姿は、まさしく「ながぐつの土曜日」新篠津バージョンでした。自分もガイドをしながらこの時間を楽しく過ごすことができました。

異動後の新しい職場は、平岡公園の前にいた川下公園に戻ることとなり、ながぐつの土曜日や平岡の自然から離れるのは少し寂しいですが、気分を入れ替えがんばりたいと思います。

6年間の平岡公園での勤務で出会った人と人とのつながりを大切にしながら・・・・・。

今後も、平岡どんぐり森のご活躍を期待します。6年間ありがとうございました。改めまして、これからもよろしくお願いいたします。（寄稿）

❖❖　ちょっと一言　❖❖

清田区では区誕生 10 周年記念事業の取り組みの中で「清田区ふるさと遺産」や「区のシンボル（花、木、鳥など）」を広報さっぽろの７月号で募集するそうです。
清田区の鳥のシンボルは「**アオサギ**」 がぴったりです！
アオサギの平岡コロニー（集団営巣地）は全道２番目に大きく 2002 年の調査では 266 の巣を確認。アオサギの数は増加傾向にあり、空を見上げると悠々と飛んでいる姿は絵になります。
木は「**コナラ**」！
コナラはどんぐりの仲間で、大谷地に北限の純正林があり、清田区内には札幌市内でもとりわけ多くのコナラの木があります。みなさんどう思いますか？

ポレポレ

発行　平岡どんぐりの森　（代表　荒井美和子）
〒004-0033　札幌市厚別区上野幌３条５丁目12－8
tel. fax　011－896－0058